

ふえーぬ風

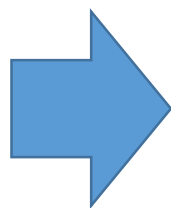
発行 〒901-1115
 沖縄県南部農業改良普及センター
 TEL:(098)-889-3515
 FAX:(098)-835-6010

酪農の飼養管理情報

暑熱対策に取り組もう！



- 繁殖牛の最適温度は
10～15℃
- 沖縄県の夏場（7～9月）の
平均気温（※気象庁HP参照（2019年））
28.0～29.2℃



- 夏期の暑熱は
- 採食量の低下
 - 繁殖成績の悪化
 - 乳量の低下
- を引き起こす、、、

生産性の低下を防ぐため、暑熱対策が必要！

対策① 扇風機等による送風

- 天井吊り下げ式の場合、角度30～45度が好ましい。
牛の背中の上に風の道を作るようにし、
熱気を畜舎外へ出す。

対策② 細霧装置（ミスト）の活用

- 対策①と併せて実施。

対策③ 直射日光の侵入防止

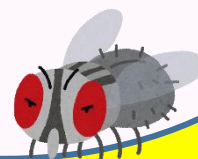
- 遮光ネット、よしず、
緑のカーテンを南・西に設置

対策④ 体温の上昇を抑える。

- 気温の低い時間帯の餌やり
- ふん尿除去による牛体の汚れ防止
- 綺麗な水の確保

+ サシバエ対策！

- 発生源（スクレーパー等）の清掃
- 幼虫（うじ）対策には薬剤散布
- 成虫には粘着トラップ、ネットの設置



夏場の暑熱対策とサシバエ対策を行うことで、乳量の低下や繁殖成績の低下等の生産性の低下を防ぐことが期待できます。普段皆さんが取り組んでいる内容を再確認して、暑熱対策+サシバエ対策として、ご自身の農場に適した対策から実施してみましょう。

新型コロナウイルス感染症でお困りの農業者の皆様へ

各種支援があります。ご自身に当てはまる内容について、是非ご活用下さい。

1. 経営継続補助金 二次募集が始まります!(送付時点で始まっている可能性あり!)

○対象者

農林漁業者(法人・個人)

※支援機関の支援を受けて
取り組む必要があります。

○補助上限額

- ・単独申請 150万円
- ・グループ(共同)申請 1,500万円

○受付期間

一次受付 終了
二次受付 9月中旬～10月頃予定

	支援機関名	支援対象者	問合せ先
①	沖縄県農業協同組合	組合員※	担い手サポートセンター 098-831-5565
②	沖縄県花卉園芸農業協同組合	組合員	経営総合対策室 098-860-2269
③	沖縄県酪農協同組合	組合員	購買指導課 098-998-6262
④	沖縄県養鶏農業協同組合	組合員	総務班 098-973-2331
⑤	農業経営相談所	事業利用者	050-3628-8641
⑥	沖縄県農業法人協会	協会加入者	098-946-7646
⑦	沖縄県農業会議	上記①～⑥に該当 しない農業経営体	098-889-6027

※系統外出荷の組合員も含む

①経営継続に関する取り組みに要する経費 (機械装置費、設備処分費、外注費等)

補助率 3/4
補助上限額 100万円

※補助対象経費の1/6以上を次のいずれかに
充てる必要があります。

- A 接触機会を減らす生産・販売への
転換に関する経費(右写真)
- B 感染時の業務継続体制の構築に
関する経費

②感染拡大防止の取り組みに要する経費 (消毒費用、換気費用、飛沫対策費用等)

補助率 定額 / 補助上限額 50万円



資料：農林水産省HPより

2. 農業者向け金融支援策

(下記内容①～④に該当する方向けの融資資金があります。)

- ① 減収などにより当面の資金繰りにお困りの方
- ② 既往債務の返済にお困りの方(まずは既往債務の償還猶予等について、借入の金融機関にご相談下さい)
- ③ 新たに販路拡大や省力化等の施設整備に取り組まれる方
- ④ 新型コロナによる減収により、一時的な生計維持が困難な方(少額生活費用の貸付)

問合せ先	お住まいの市町村 社会福祉協議会	最寄りの沖縄金融開発公庫				最寄りのJAおきなわ窓口	
資金名	緊急小口資金	農林漁業セーフ ティネット資金	スーパーL資金	経営体育成 強化資金	農林漁業 施設資金	農業近代化 資金	農業経営負担 軽減支援資金
内容	①	○	○	○		○	
	②			○	○		○
	③			○	○	○	
	④	○					

新型コロナウイルス感染症でお困りの農業者の皆様へ

3. 高収益次期作支援交付金

○支援対象者

令和2年2～4月の間に野菜、花き、果樹などについて出荷実績がある、または廃棄等により出荷できなかった生産者

支援機関名	支援対象者	問合せ先
① 沖縄県農業協同組合	組合員※	担い手サポートセンター 098-831-5565
② 沖縄県花卉園芸農業協同組合	組合員	営農指導員

※系統外出荷の組合員も対象。

支援内容①

次期作に前向きに取り組む生産者に対し、種苗などの資材購入や機械レンタル等への支援。

○基本単価5万円/10a

○高集約型施設園芸品目の単価

施設栽培の果樹 25万円/10a

施設栽培の花き 80万円/10a



機械化体系の導入



被覆資材の導入



空調装置の導入



環境制御盤の導入

支援内容②

新品種や新技術の導入などの取り組みへの支援



新品種導入

2万円/10a × 取組数

支援内容③

花き等の高品質なものを厳選して出荷する取り組みへの支援



芽かき・摘花等

2,200円/人/日

資料：農林水産省HPより

4. 園芸作物再生支援事業

○支援対象者 : 「高収益作物時期作支援交付金」に取り組む花き農家

○申請先 : 「高収益作物次期作支援交付金」と同じ窓口

○補助額 : 3万円以内/10a

5. 他にも！沖縄県では農業支援のためにこんな事業に取り組んでいます！



① 農林水産物流通条件不利性解消事業

航空便の減便に対処するため、貨物専用臨時便を利用した県外出荷にかかる輸送費の一部を補助しました（R2年5/1～6/30）。

② 航空物流機能回復事業

航空便の減便に対処するため、航空会社に対し貨物専用機臨時便にかかる運行経費の一部を補助しました（R2年7月～8月）。

③ ちばりよ～！

わった～農林水産業応援プロジェクト事業
子供食堂や保育園、学校給食、公共施設などに花きやパイナップル、マグロ、牛肉といった県産品を提供し、地産地消の推進と消費喚起に取り組んでいます。

(普及企画班 前田)

外来雑草カワリバトウダイの防除①

カワリバトウダイとは

メキシコ原産のトウダイグサ科で、ユーフォルビアとも呼ばれています。

当雑草は繁殖力が旺盛なため、畑への侵入・分布域の拡大が心配されています。



- メキシコ原産トウダイグサ科
- ユーフォルビアと呼ばれることがある
- 葉の形は広葉や細葉がある
- 生育初期の段階でも種子ができる
- 効きにくい除草剤がある

一度枯れたが復活してきた



2,4-Dアミン塩は、茎の湾曲や葉の変色などはあったが、枯死はしなかった。

カワリバトウダイに効果のある除草剤の確認 (2019,南部普及センター)

使用した除草剤一覧

※ラウンドアップ マックスロード[®] については試験中。



丸和ハイケミカル (株) HP



バ イルクロップ サイエン (株) HP



石原ハイサイエン (株) HP



日産化学 (株) HP

土壌処理剤

茎葉処理剤

外来雑草カワリバトウダイの防除②

各種除草剤の効果

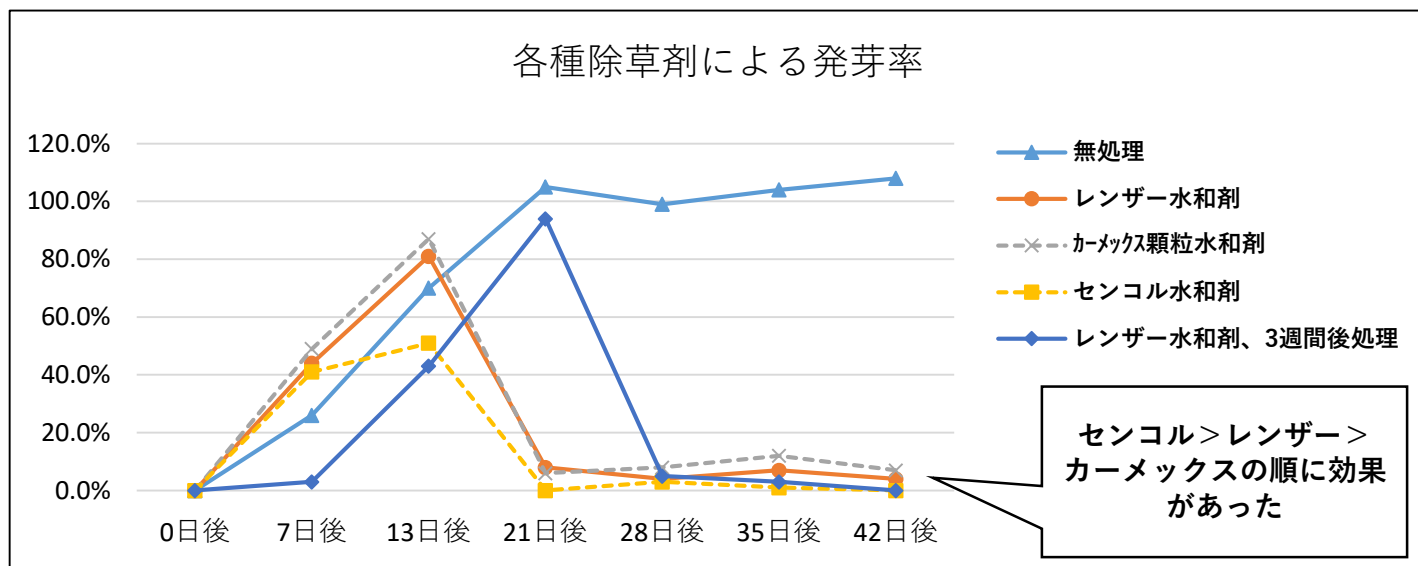
【土壌処理剤の試験内容】

- 土壌は「ジャーガル」を使用
- かんしょ植付時の碎土状態を再現
- 薬剤は規定量、水量は **2倍量** に調整
- レンザー水和剤のみ、播種 **3週間後** に散布



播種前の土壌状態

【土壌処理剤の試験結果】



まとめ

- センコル水和剤とレンザー水和剤はよく効く
- さとうきびでは「センコル」、かんしょでは「レンザー」を使用する
- 薬剤調整の **希釈水量は2倍量** にする
→ 荒い碎土でも表面にまんべんなく付着させるため
- レンザー水和剤に関してはカワリバトウダイの発芽後（草丈3.5cm程度）でも効果あり

注意!!

10a当たりの薬剤
使用量は2倍量に
しないこと!

ナスの天敵を使った害虫防除

南部地区天敵利用状況 (R1)

作物	天敵戸数	天敵面積 ^a
ナス	8	86
ピーマン	20	290
その他品目	4	141

面積、農家戸数ともに増加

害虫防除に関する悩み

- 害虫が多く薬剤散布が負担
- 散布ムラも出てしまう
- 農薬が効きにくい

天敵防除による効果

- 薬剤散布回数が減る
- 害虫による食害傷が減少し品質が向上した



活躍する天敵

タバコカスミカメ



スワルスキーカブリダニ

防除する害虫



ミナミキイロアザミウマ



タバココナジラミ



チャノホコリダニ

天敵放飼までの一例

●ナスハウス●

ナス定植・クレオメ定植
プリロッソ粒剤

天敵放飼予定日から逆算して、
定植後：モベント
アフアーム

スワルスキー放飼
タバコカスミカメをハウス内へ
タバコカスミカメをナスへ

注) 天敵放飼後は天敵に影響の少ない農薬を利用すること！！

●露地●

ゴマ播種
(タバコカスミカメ誘引用)



・天敵に影響の少ない農薬代は高いけど、防除作業も減るし、品質も上がるし、**経営的にプラスだったよ！**

天敵利用効果

	薬剤防除	天敵防除
殺虫剤散布回数	30回	11回
時間×回数	120h	44h
被害果	多	少



天敵導入時には関係機関に相談しましょう。

キク類の病害虫防除を徹底しましょう。

令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの農家では大きな経営的打撃を受けておりますが、農家支援策をうまく活用しながら次期作へ向けて取り組んで下さい。

今回は、キク類の主な病害虫の症状と、その対策についてご紹介します。

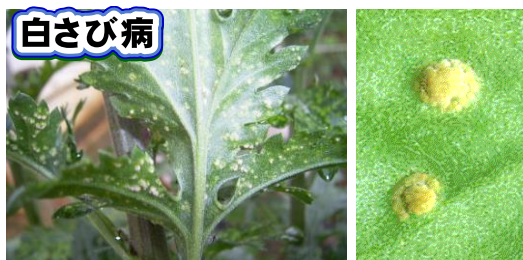
【主な病気】

黒斑・褐斑病



葉に発生し、地上部に落ちた罹病葉から降雨によって跳ね上がり下葉に感染し、後に上位にも伝染していく。発生初期を見逃さず農薬散布と、下葉の罹病葉の除去を行い、初期防除に努める。

白さび病



発生適温15～23℃で多湿を好み沖縄では冬～春に発生が多く見られます。初期症状は1mm程度の大きさの乳白色の斑点を生じ、次第に大きくなりながら葉の裏にクリーム色の斑点を生じます。対策は多湿にならないよう排水や風通しを良くする。また、被害株をほ場外へ除去して下さい。

菌核病



寒く湿度が高い時期に発生する病気です。地際の茎から発生が多く、茎が褐変し白いカビを生じます。進行するとねずみの糞状の黒い塊（菌核）が作られるのが特徴です。放置すると株全体に症状がおよび枯れます。被害株はほ場外へ除去して下さい。

【主な害虫】

アザミウマ類



被害は葉表面にクロイド上になって現れ激しい奇形葉となる。近年発生が多いのは、クロゲアザミウマといわれている。対策としては発生初期の防除が重要であり、定植時の粒剤処理や同系統の農薬を続けて散布せず、薬剤抵抗性の発達を防ぐ。

ハダニ類



乾燥すると大発生しやすくなります。葉裏に多く、色が白いため見えにくくもあり、防除のタイミングを逃しがちです。葉に白い微小斑点を生じたり、多発すると葉色が白くなります。下葉にも新芽にもいますので、アザミウマ同様に株全体の防除が重要です。

オオタバコガ



10～12月、2～4月に発生が多く、卵から孵化した幼虫は新芽に隠れ芯を食害し、脱皮をしながら上位部の葉を食害します。食害の広がりも早く、大切な葉を食べつくされる可能性があります。発生初期は新芽にも隠れますので、新芽にも充分農薬散布が必要です。

親株ほ場での病害虫防除を徹底し、病害虫の発生した苗を本畑に持ち込まないようにしましょう！